

桐生繊維業界の実態

平成21年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成21年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	12 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	166億0,263万円	
(2) 加工高	19億0,033万円	
(3) 販売高	79億7,779万円	
計	264億8,075万円	
退会団体の収入（推定：前年対比90%）	22億4,386万円	
計	287億2,461万円	（前年対比 90%）
3. 組合員数（事業所数）	286 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,256 人	
5. 一事業所当たり従業員数	8 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	9,259 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 2年 産地収入	931億1,687万円	（前年対比111%）
平成 3年 産地収入	908億7,740万円	（前年対比 98%）
平成 4年 産地収入	1,001億1,232万円	（前年対比110%）
平成 5年 産地収入	893億2,611万円	（前年対比 89%）
平成 6年 産地収入	845億3,438万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733億6,672万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678億3,478万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616億9,017万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528億4,669万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473億6,503万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444億7,222万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416億8,724万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376億2,047万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346億0,005万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453億8,571万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436億5,236万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397億4,442万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375億4,078万円	（前年対比 94%）
平成20年 産地収入	318億2,356万円	（前年対比 85%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				計 (人)	従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	65	201	231	62	79	573	54
	内地協議会	67	160	286	60	65	571	57
桐生染色組合		13	45	16	6	5	72	56
桐生繊維製品協同組合		24	136	199	27	25	387	44
桐生織物産地元売組合		4	7	4	0	2	13	53
桐生糸商組合		9	20	10	16	7	53	48
桐生刺繍商工業協同組合		42	80	125	68	67	340	59
東日本編レース工業組合		11	21	13	21	14	69	51
桐生意匠組合		11	2	2	3	7	14	54
桐生紋紙組合		12	5	0	10	6	21	60
東毛ジャカード刺繍協同組合		9	11	14	9	9	43	46
桐生織物商友会		13	19	7	8	9	43	57
桐生テキスタイル商業グループ		6	33	19	4	1	57	45
合計		286	740	926	294	296	2256	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	418,882	24,539	443,421	86	0	100
	内地協議会	251,585	-	251,585	88	0	100
桐生染色組合		-	55,200	55,200	80	55	45
桐生繊維製品協同組合		812,201	59,120	871,321	96	8	92
桐生刺繍商工業協同組合		45,450	49,050	94,500	90	70	30
東日本編レース工業組合		90,700	-	90,700	95	60	40
桐生意匠組合		6,400	-	6,400	96	90	10
桐生紋紙組合		5,000	-	5,000	64	90	10
東毛ジャカード刺繍協同組合		30,045	2,124	32,169	85	2	98
合 計		1,660,263	190,033	1,850,296	91	13	87

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	58,000	85	12	88
桐生糸商組合	456,000	89	65	35
桐生織物商友会	72,963	90	12	88
桐生テキスタイル商業グループ	210,816	90	1	99
合 計	797,779	89	39	61

注

(1) 前回調査と比べ、退会組合が1件あり。(桐生和服裁縫組合)

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	388,441	88	54,980	12	443,421
	内地協議会	251,585	100	-	-	251,585
桐生染色組合		55,200	100	-	-	55,200
桐生繊維製品協同組合		775,476	89	95,845	11	871,321
桐生織物産地元売組合		58,000	100	-	-	58,000
桐生糸商組合		456,000	100	-	-	456,000
桐生刺繍商工業協同組合		94,500	100	-	-	94,500
東日本編レース工業組合		88,886	98	1,814	2	90,700
桐生意匠組合		6,400	100	-	-	6,400
桐生紋紙組合		5,000	100	-	-	5,000
東毛ジャカード刺繍協同組合		32,169	100	-	-	32,169
桐生織物商友会		72,963	100	-	-	72,963
桐生テキスタイル商業グループ		200,275	95	10,541	5	210,816
合計		2,484,895	94	163,180	6	2,648,075

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物協同組合 (広幅協議会)	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
	63	22	10	5	
桐生織物協同組合 (内地協議会)	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
	64	16	14	6	
桐生染色組合	合織	レーヨン・アセテート・ キュプラ	絹	綿・ウール	
	67	20	8	5	
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
	29	26	5	5	35

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
	55	20	10	5	10
桐生糸商組合	化合織	綿・スフ	その他		
	80	13	7		
桐生刺繍商工業協同組合	雑貨	婚礼衣裳	婚礼加工	プラス・ニット加工	ハンカチーフ加工
	30	20	20	15	15
東日本編レース工業組合	インテリア	衣料	資材		
	72	15	13		
桐生意匠組合	洋反	金襴	インテリア	帯	
	50	20	20	10	
桐生紋紙組合	エンドレス ペーパー	紋紙	フロッピー		
	40	30	30		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン刺繍	プリント加工	トレーナー
	49	27	15	7	2
桐生織物商友会	帯	和装小物	二次製品	着尺	その他
	38	36	21	1	4
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係 (丸編、ラッセル、トリコット)		その他	
	60	39		1	

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名	設備名	数量(台)
桐生織物協同組合(広幅協議会)	普通織機	742
	自動織機(片レピア含)	244
	超自動織機(レピア)	408
	計	1394
桐生織物協同組合(内地協議会)	広幅織機	70
	並幅織機	742
	小幅織機	150
	自動・レピア織機	206
	計	1168
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	60
	高圧噴射式染色機	14
	汎用染色機	20
	チーズ及びケーキ染色機	30
	計	124
桐生繊維製品協同組合	縫製マシン(特殊含)	249
	プレス	26
	裁断機	7
	その他	150
	計	432
桐生刺繍商工業協同組合	横振マシン	50
	多頭式マシン	370
	計	420
東日本編レース工業組合	ジャカード落下板付きラッセル機	22
	ジャカード落下板付きコンピューター機	7
	チェーンラッセル機	50
	チェーンラッセルコンピューター機	8
	計	87
桐生意匠組合	デザインシステム	31
	拡大機	2
	コピー機	10
	計	43
桐生紋紙組合	デザインシステム	22
	カードパンチ	12
	横彫カット・エンドレス	16
	ワンパンチ	4
	計	54
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターマシン	30
	プレス	6
	本縫いマシン及びその他の機械	31
	パンチング製版機	4
	プリント機	2
	計	73

7. 最近の推移（H21年10月～H22年2月）

団体名	受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
	増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合（広幅協議会）		○		100		○		100
桐生織物協同組合（内地協議会）			○	85			○	90
桐生染色組合			○	80			○	80
桐生繊維製品協同組合			○	85			○	90
桐生織物産地元売組合		○		100			○	90
桐生糸商組合			○	80		○		100
桐生刺繍商工業協同組合			○	90			○	90
東日本編レース工業組合			○	97			○	98
桐生意匠組合			○	90			○	90
桐生紋紙組合			○	50			○	90
東毛ジャカード刺繍協同組合			○	80		○		100
桐生織物商友会			○	95		○		100
桐生テキスタイル商業グループ			○	90			○	95
合計	0	2	11		0	4	9	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成21年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・服地部門は、一昨年来からの世界同時不況による不況感から消費動向の変化により、高級品の買い控え等により、当産地商品も苦しい状況で推移している。輸出にあっても円高の影響が長引き苦戦を強いられている。
- ・和装部門については、依然として今まで市場に無かった商品が求められ、消費者の理解が得やすい説得力のある製品や、目新しさなどがアピールできる素材を用いた商品が興味を持たれている。また、世情を反映し、定番品はもとより新提案の製品も低価格化が求められる状況にある。

平成21年の状況、事業概要

- ・服地部門は、婦人服地事業として、国内向けでは桐生テキスタイルコレクション 2010AW と題して東京・青山で十月に展示会を開催した。また、JFW ジャパンクリエイションに出展参加した。輸出向けにあっては、三月に北京で販促活動、市場調査を行った。展示会は7月にインターテキスタイル深圳、九月にテックスワールドパリに出展した。
- ・和装部門については、生活スタイルの変化による和装離れと流通の弱体化が大きな影響となり、景気低迷による消費の減退もあって、産地和装製品は引き続き厳しい状況が続いている。これらの状況に対応するため、市場の注目を浴びるような新製品の試作開発や、和装集散地等における展示会の開催を事業の柱として、多くの和装振興事業を積極的に展開している。

今後の課題

- ・服地部門は、適正な為替水準の維持と、不況感を吹き飛ばす景気の回復を期待している。
- ・和装部門については、和装離れの歯止め、消費者の業界に対する不信感の払拭、安価な海外生産などの諸問題に対する、魅力ある製品の開発や信頼と積極性のある販路の開拓などが今後の課題となっている。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者の織物離れは相変わらずで、一時期好評だったマルチフィラメント使いの織物も低迷している。従って加工業者にも影響が出ており、糸染め、後染めも一段と後退局面である。

平成21年の状況、事業概要

国内市況は最悪である。但し、中国向けが積極的になってきており希望が持てる。桐生の織物は手がこんでおり、他地域では出来ない商品が多い。今後に期待出来る。

今後の課題

- ・表面効果、機能性をうたった商品が必要であろう。従って差別化された糸を使用したり、後加工で付加価値を付ける事が最重要である。

桐生繊維製品協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・多品種・小ロット・短納期が求められ苦慮している。また、従来のシャーリング・ピン

タック加工ではなく、中間工程におけるプラスアルファの特殊加工が求められ生産数が伸びない。

平成21年の状況、事業概要

- ・リーマンショック以来、受注が安定していない。また、小ロットのため生産効率が悪く、中間工程での特殊加工の多さや、値下げ、生産管理・価格対応などに苦慮している。

今後の課題

- ・海外生産が多く、国内生産は多品種・小ロット・安価なものを要求される。縫製人口の減少から、今後ますます空洞化が進み、国内生産比率は低下するだろう。デフレ経済の中、アパレル業界の新たな連携体制を作る必要がある。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・冠婚葬祭時における呉服着用品が急減している。一方、価格破壊の状態が続いており、原価より安い価格の商品が市場にあふれている。

平成21年の状況、事業概要

- ・日本橋堀留地区、京都室町地区等にある二次問屋が激減しており、流通経路が変わりつつある。百貨店、専門店、スーパー等、いずれも売上減で、単価、数量、ともに下落状態である。
- ・インターネット販売が多少増加している。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・内需向け製品市況の悪化によるテキスタイルメーカーの生産減が、我々、糸商の営業に大きく影響している。海外向けの生地も東南アジア品との競合にさらされている。

今後の課題

- ・ある程度の内需復活を期待せざるを得ない状況。あとは、経費節減をして耐えていくしかない。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・商品については多様化の一途をたどり、新アイテムや、素材に対する様々な加工の要望が増している。また消費者ニーズについては、オリジナル志向が強まっており、個人や小グループからの個人オーダーの数が増え、今後もその傾向は強まるものと思われる。

平成21年の状況、事業概要

- ・全体的な傾向としては、多品種小ロットの傾向が顕著になり、量産を前提に設備された刺繍機にとっては、手間と採算の合わない案件が増えている。

今後の課題

- ・国内最大の刺繍産地である桐生広域圏が、今後も日本を代表する産地として生き残り、かつ発展していくために、産地の繊維業者全体の課題として、技術と心を合わせ、一つになって商品開発を進めていくべきである。また、産地の力を最大限にアピールして、大手メーカーや国の入札を勝ち取っていくことが大切である。

東日本編レース工業組合

平成21年の状況、事業概要

- ・インテリア関連は全般的に、住宅・マンション等の販売不振が続き受注数が大幅にダウンの状況である。カーテンレース・ブラインド関係は格安物が主流であり、国内生産は少なく、輸入物が多くなったのが現状である。
- ・原料高の製品安の状況は今後も続くと考えられる。

今後の課題

- ・国内市場が伸びないため、世界市場へ販売出来る新商品の開発が急務である。合成繊維の新機能性原糸と、天然繊維素材との組み合わせによる独自商品を開発して、世界市場への販売へとつなげる努力が必要である。

桐生意匠組合

今後の課題

- ・オリジナル性あるデザインの制作や、技術の向上が必要と考える。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

どの商品も低単価傾向であり、利益が取りにくい状況である。消費者ニーズは多様化してきているので商品提案が難しくなっている。

平成21年の状況、事業概要

商品の低単価、消費者の買い控え傾向が続く中、一部の通販、インターネット等では順調な模様。

今後の課題

- ・消費者ニーズが多様化しているので、情報収集が不可欠である。また、小ロットでの対応が出来るよう工夫が必要である。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者はこの一年で激変した。大不況の不安を前に一段と身を縮め始め、商品に対する考えがシビアになり、「支払った金額に応じた満足度を得られるか」が問われるようになった。
- ・一方で百貨店向け婦人ブランドにおいて、付加価値を全面に打ち出した比較的高額な商品が売れ始めており、価格一辺倒から変化の兆しも出てきた。

平成21年の状況、事業概要

- ・市況の悪化を受けて、アパレルは価格を抑えるために素材をアジア各国で現地調達し、製品は中国で生産されるなど、日本国内のものづくり機能が空洞化しつつある。
- ・百貨店ブランドは企画のマンネリ化や同質化により、ブランドの個性がなくなり、百貨店の衣料品売上げの不振は著しい。
- ・先行きの不安から消費が伸びず、各社の商談は大幅に遅れ、低価格競争が激化する中、顧客の要求は相変わらず多種多様で、ますます小ロット化している。しかもクイックデリバリーを強いられており、産地にとって厳しい状況が続いている。

今後の課題

- ・ 中小企業の生き残り対策としては差別化しか無い。徹底的に隙間を狙うか深堀するしかないと言われており、桐生産地としても、その方向に向かわざるを得ない。
- ・ 年々、低価格・高技術・短サイクルが求められており、クイックデリバリーのシステム化や、産地側が主導権を握った商品開発など課題は多い。
- ・ 海外生産による市場の同一化に一石を投じて、新たな価値や創造性を重視した素材の開発が急務である。世界で認められるような高技術・高感度の商品を生み出し、産地のレベルアップ、発展につなげる必要がある。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	後 藤 隆 造	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊 藤 久 夫	桐生市相生町2-620 (株)アート内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	木 村 俊 一	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	大 川 泰 正	桐生市広沢町2-3368-2 大丸縫製(株)内	52-6061
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	下 山 勝	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	中 野 隆 雄	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増 田 正 明	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	阿 部 高 久	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	江 原 毅	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 財団法人桐生地域地場産業振興センター内
 〒376-0024 桐生市織姫町2-5
 電 話 (0277) 46-1011
 F A X (0277) 40-1300